

令和7年度地域活性化対策特別委員会県外視察の概要

1 参加委員

元木 章生（委員長）、曾根 大志（副委員長）、沢本 勝彦、木下 賢功、
井川 龍二、庄野 昌彦、坂口 誠治

2 視察日程及び視察箇所

視察日程	視 察 箇 所
8月6日（水）	STATION Ai（愛知県名古屋市）
8月7日（木）	公益社団法人徳島県産業国際化支援機構名古屋支部 （愛知県名古屋市）
	愛知県庁（愛知県名古屋市）

3 調査目的及び視察概要

（1）STATION Ai

（調査目的）

令和6年10月に名古屋市鶴舞に開業した国内最大級のオープンイノベーション拠点で、スタートアップ企業の創出育成及びオープンイノベーションの促進を目的に様々な支援サービスを提供している。700社を超える国内外のスタートアップ企業、パートナー企業や大学等が参画し、新規事業創出に取り組んでいる。施設内には会員向けのオフィスやテックラボに加え、一般の方も利用できるカフェやホテル、イベントスペース等が併設されている。

これらを踏まえ、STATION Aiプロジェクト（スタートアップ支援施策）について調査する。

（視察概要）

STATION Aiプロジェクトについて説明を受けた後、施設内のオフィスエリアやテックラボ等を視察しました。



(2) 公益社団法人徳島県産業国際化支援機構名古屋支部

(調査目的)

名古屋市栄にある中日ビルには、1道14県の事務所やアンテナショップが集まっており、日本各地の観光・物産の情報を知ることができる。徳島県アンテナショップも令和6年に中日ビルに移転し、徳島の豊かな自然や伝統の技が生んだ魅力あふれる名産品・特産品を販売している。

これらを踏まえ、東海地区における県産品の販路拡大について調査する。

(視察概要)

東海地区における県産品の販路拡大の取組について説明を受けた後、意見交換を行いました。



(3) 愛知県庁

(調査目的)

愛知県では、県民全体のワーク・ライフ・バランスの充実と生産性向上による地域経済の活性化の実現を目指すため、経済界・労働界・教育界とともに地域が一体となって「休み方改革」に取り組んでいる。あいち県民の日やあいちウィークを契機とした「休み方改革」の推進や休み方改革マイスター企業認定制度の創設等、様々な取組を展開している。

また、農業分野における担い手の減少や高齢化、気候変動などの課題に迅速に対応するために、「あいち農業イノベーション研究会」を設置し、県とスタートアップ企業等との共同研究体制の強化を図り、農業イノベーションの創出を目指す「あいち農業イノベーションプロジェクト」に取り組んでいる。

これらを踏まえ、愛知県「休み方改革」プロジェクト及びあいち農業イノベーションプロジェクトについて調査する。

(視察概要)

各プロジェクトの取組について説明を受けた後、意見交換を行いました。

